

幼年から中学生が競う

市総体 柔道競技

第57回習志野市市民総合体育大会の柔道競技「習志野市民柔道大会」が2月4日、東部体育館で開かれた。

34校・クラブの幼年から中学生までの488名が出場。12部門でトーナメント戦を戦った。

大会結果は次の通り。

▽幼年の部
①花本清人(明心館関本道場) ②山田絆志郎(錬心館)

▽小学1年の部
①齋藤琉之介(育心館内山道場) ②古谷那乃(習志野柔道クラブ) ③齋藤那月(山武柔道西塾) ④中谷陽琉(明心館関本道場)

▽小学2年の部
①福田光汰(錬心館岡野道場) ②小澤大海(茂原柔道クラブ) ③野尻卓見(紅柔道)

▽小学3年の部
①小川裕生(習志野柔道クラブ) ②香月陽(明心館関本道場) ③紺野雅道(明心館関本道場) ④越後慎介(習志野柔道クラブ)

▽小学4年の部
①小園駿太郎(紅柔道クラブ) ②服部藍之丞(錬心館岡野道場) ③柏木光聖(山武柔道西塾) ④関紗良(大多喜町少年柔道クラブ)

▽小学5年の部
①小川恵舞(習志野柔道クラブ) ②越後屋煌(山武柔道西塾) ③久保柚輝斗(鹿嶋柔道クラブ翔龍会) ④小川蓮(白子少年柔道教室)

▽小学6年の部
①稲村波瑠(明心館関本道場) ②大藤美夕花(明心館関本道場) ③並木力(山武柔道西塾) ④茂木利玖人(育心館内山道場)

▽男子中学1年の部
①渡辺暖日(山武柔道西塾) ②年藤道哉(蒼龍道クラブ) ③中村心(明心館関本道場) ④石井謙柔(中山柔道会)

▽男子中学2年の部
①川端利育(中山柔道会) ②高村晟(八木が谷中) ③古川蓮音(蒼武館) ④赤坂健輔(中山柔道会)

▽男子中学3年の部
①麻生竜貴(明心館関本道場) ②高橋樹(明心館関本道場) ③三村亮翔(育心館内山道場) ④青木尚也(茂原柔道クラブ)

▽女子中学1年の部
①石井柚貴(相川道場) ②林咲美(育心館内山道場) ③松崎里桜(錬心館岡野道場) ④川北萌花(白子少年柔道教室)

▽女子中学2年の部
①益満柚花(明心館関本道場) ②田代芽生(松戸市修練会) ③宮城巧美(葛飾中) ④村上由依(葛飾中)



小学3年の部



小学5年の部

全国少年少女空手道選抜大会で優勝

仙武会肥沼道場・屋敷小学校4年 千葉和奏選手が日本一に



空手日本一となり、祝福を受ける千葉和奏選手(前列中央)

空手の全国大会で優勝を果たした屋敷小学校の千葉和奏選手が3月26日、習志野市役所を訪れ、宮本市長、佐々木秀一市議会議長、小倉隆教育長に優勝を報告した。

千葉選手は2月16日から北海道で開催された「第3回全国少年少女空手道選抜大会」の小学校4年生女子組手の部で優勝を果たした。この大会の出場は2度目。一般社団法人仙武会肥

沼道場に所属し、肥沼正勝師範の下、プラッツ習志野や合津コミュニケーションセンターなどで稽古に励んでいる。これまで全国少年少女空手道選手権大会には3年連続で出場している。

肥沼師範は「日本一となり、報告は本人にも励みになり、習志野市にとっても意義があると思います」と述べ、千葉選手は「きょうはありがたいと思います。全国大会で日本一になることができてよかったです」と話した。

宮本市長は「うれしい報告をありがとうございます。優勝おめでとうございます。日本一とともに習志野市の名前も一緒に全国に

広まりました。このことは習志野市の誇りです。これからもますます自己研鑽していただきたい」と称えた。

佐々木議長は「いろいろなスポーツがさかんなまちにあって、また一つ習志野市を有名にしてくれました。これに満足することなく、稽古を重ね、連覇してもらいたい」、小倉教育長は「日本一の報告がうれしくてなりません。これから目標とされる存在となります。プレッシャーかも知れませんが、それを乗り越え、もっともっと強くなつて、空手の良さをいろいろな人に伝えてもらいたい」と今後に期待を寄せた。

みんなでゲームを楽しむ

サッカーフェスティバル

一般社団法人習志野市サッカー協会主催の「習志野サッカーフェスティバル」が3月20日、第一カッターフィールドで開かれた。

サッカーフェスティバルは「いろいろな世代が集い、サッカーを通して交流を図り、スポーツの楽しさを味わう」ことを目的に開かれていた。フェスティバルには、習志野高校サッカー部、オーシャンングランツFC、クーパー・コーチングスクールが協力した。

開催に当たり習志野市サッカー協会の佐々木竹男会長は多くの参加に感謝し、「今回で3回目になりました。楽しんで、大いに盛り上げて、また参加してもらいたい」と挨拶し、スポーツで楽しく過ごす大切さを伝えた。



輪になってドリブル



大きなボールを追って

を伝えた。

第1部は小学1年生とその親子が対象とされ、ボールを使ったゲームが行われた。「輪になってドリブル」は、3組ほどの家族が集まり、みんなで輪になって真ん中に置かれたボールをドリブルしながらゴールを目指すゲーム。輪がほどけ、芝生の上で転び、笑い合う光景が見られた。

4か所のコーナーに置かれたボールを取り合うゲームでは、大人も子どもも一生懸命に走り、チームにわかれて大玉をゴールに入れるゲームでは、みんなで攻めて、みんなで守った。最後のミニゲームのゴールは三つあり、親子で楽しんだ。

参加した親子は「ルールがわかりやすく、転んでも芝生で痛くなくて、とっても楽しかった」と話した。

第2部は中学生、高校生、シニア、女子がゲーム

を楽しんだ。「ゴールフリースピ」は、フリスビーを投げて、パスをしながらゴールを狙うゲーム。折からの強風のため、フレイヤーは風に翻弄されながらパスを受け取ろうとがんばって見られた。

習志野市市民総合体育大会の柔道競技「習志野市民柔道大会」が2月4日、東部体育館で開かれた。

を伝えた。

第1部は小学1年生とその親子が対象とされ、ボールを使ったゲームが行われた。「輪になってドリブル」は、3組ほどの家族が集まり、みんなで輪になって真ん中に置かれたボールをドリブルしながらゴールを目指すゲーム。輪がほどけ、芝生の上で転び、笑い合う光景が見られた。

4か所のコーナーに置かれたボールを取り合うゲームでは、大人も子どもも一生懸命に走り、チームにわかれて大玉をゴールに入れるゲームでは、みんなで攻めて、みんなで守った。最後のミニゲームのゴールは三つあり、親子で楽しんだ。

参加した親子は「ルールがわかりやすく、転んでも芝生で痛くなくて、とっても楽しかった」と話した。

第2部は中学生、高校生、シニア、女子がゲーム



ならしのスマイルラン

合も行われたが、ルールはボールをひざ下に転がすこと。中学生と高校生は2タツチだけが認められた。ボールを高く上げることが厳禁だけに、ゴールを決めると、ハイタッチで喜ぶ姿が見られた。

クラブ主催の「ならしのスマイルラン」が3月10日、西浜緑地公園で開かれた。

8回目を迎えたスマイルランには、親子マラソン、リレーマラソンなどの出場者ら約800人が集まった。好天に恵まれ、東京湾も遠望でき、親子やランニング仲間たちが海沿いのコースでのランニングを楽しんだ。キッチンカーも出店し、ピクニック気分の家族連れも多く見られた。

エントリー数も増え、大会開催に協力する企業なども充実し、「地域に根差した大会になった」という声が聞かれた。

地域の課題解決にアイデア発表

日本大学生産工学部の学生

日本大学生産工学部の授業科目「SDコミュニケーション」を受講する学生たちが、津田沼キャンパスで開かれた。

「SD(ソーシャルデザイン)」の授業は「創造力で社会が抱える複雑な課題の解決に挑む活動であるソーシャルデザインの考え方を踏まえた上で、工学の専門知識を生かして地域社会、会社組織などが抱える課題に取り組み、産官学連携を活用しつつその解決策を提示することで、地域振興および社会貢献できる人材の



発表した日大生

育成を目指している」。全学共通の生産工学系科目として位置付けられ、3年生4クォーター(11月から1月)に開講されている。

4回目を迎えた授業の具体的な内容は、キャンパス周辺地域の久保地区を対象にソーシャルデザインの実践を試みるもので、学生たちが「プラッツ習志野で日大生プロデュース企画を成功させよう」をテーマに企画提案のプレゼンテーションを行った。

プラッツ習志野を対象地に、学生は地域にとってどのような存在かを考え、「すれ違っただけ」から「挨拶を交わす」への展開に向

を伝えた。

第1部は小学1年生とその親子が対象とされ、ボールを使ったゲームが行われた。「輪になってドリブル」は、3組ほどの家族が集まり、みんなで輪になって真ん中に置かれたボールをドリブルしながらゴールを目指すゲーム。輪がほどけ、芝生の上で転び、笑い合う光景が見られた。

4か所のコーナーに置かれたボールを取り合うゲームでは、大人も子どもも一生懸命に走り、チームにわかれて大玉をゴールに入れるゲームでは、みんなで攻めて、みんなで守った。最後のミニゲームのゴールは三つあり、親子で楽しんだ。

参加した親子は「ルールがわかりやすく、転んでも芝生で痛くなくて、とっても楽しかった」と話した。

第2部は中学生、高校生、シニア、女子がゲーム

を伝えた。

第1部は小学1年生とその親子が対象とされ、ボールを使ったゲームが行われた。「輪になってドリブル」は、3組ほどの家族が集まり、みんなで輪になって真ん中に置かれたボールをドリブルしながらゴールを目指すゲーム。輪がほどけ、芝生の上で転び、笑い合う光景が見られた。

4か所のコーナーに置かれたボールを取り合うゲームでは、大人も子どもも一生懸命に走り、チームにわかれて大玉をゴールに入れるゲームでは、みんなで攻めて、みんなで守った。最後のミニゲームのゴールは三つあり、親子で楽しんだ。

参加した親子は「ルールがわかりやすく、転んでも芝生で痛くなくて、とっても楽しかった」と話した。

第2部は中学生、高校生、シニア、女子がゲーム